

科目名	ベーシックレッスン1							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ギター) 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	野村大輔・松居悠太		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン		

【科目の目的】

課題曲1曲の歴史的背景を理解し、演奏法、音色作り、フレージングを習得してその曲を自身のレパートリーとできるようにする。ミュージシャンとしての基礎力を身につけつつ、基礎レッスンを通じて音楽全般に関する知識を深め、レベルに応じたトレーニングを行い、各種オーディションやコンテストに向けた準備と進め方を学び実践する。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- A. 課題曲1曲の歴史的背景について理解する。
- B. 課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- C. 課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる。

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	課題曲1曲の歴史的背景について理解する		課題曲1曲のアーティストについて理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングがワンコーラス分演奏できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる		課題曲1曲を譜面を読みながら演奏できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

ギター： エレキギターバックキングのアイデア”即戦力”135

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン 1			年度	2026
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン1							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ベース) 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・永田範正		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン		

【科目の目的】

課題曲1曲の歴史的背景を理解し、演奏法、音色作り、フレージングを習得してその曲を自身のレパートリーとできるようにする。ミュージシャンとしての基礎力を身につけつつ、基礎レッスンを通じて音楽全般に関する知識を深め、レベルに応じたトレーニングを行い、各種オーディションやコンテストに向けた準備と進め方を学び実践する。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- A. 課題曲1曲の歴史的背景について理解する。
- B. 課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- C. 課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる。

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	課題曲1曲の歴史的背景について理解する		課題曲1曲のアーティストについて理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングがワンコーラス分演奏できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる		課題曲1曲を譜面を読みながら演奏できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

ベース： はじめてのジャズベース

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン 1			年度	2026
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン1							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ドラム)1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	麻生祥一郎・山口岳・伊東かの子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

課題曲1曲の歴史的背景を理解し、演奏法、音色作り、フレージングを習得してその曲を自身のレパートリーとできるようにする。ミュージシャンとしての基礎力を身につけつつ、基礎レッスンを通じて音楽全般に関する知識を深め、レベルに応じたトレーニングを行い、各種オーディションやコンテストに向けた準備と進め方を学び実践する。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- A. 課題曲1曲の歴史的背景について理解する。
- B. 課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- C. 課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる。

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	課題曲1曲の歴史的背景について理解する		課題曲1曲のアーティストについて理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングがワンコーラス分演奏できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる		課題曲1曲を譜面を読みながら演奏できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

ドラム: Progressive Steps to Syncopation for the Modern Drummer

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン 1			年度	2026
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン1							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(キーボード)1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	堀越昭宏・杉本清隆・丸木美花		教員の実務経験	無	実務経験の職種		ミュージシャン		

【科目の目的】

課題曲1曲の歴史的背景を理解し、演奏法、音色作り、フレージングを習得してその曲を自身のレパートリーとできるようにする。ミュージシャンとしての基礎力を身につけつつ、基礎レッスンを通じて音楽全般に関する知識を深め、レベルに応じたトレーニングを行い、各種オーディションやコンテストに向けた準備と進め方を学び実践する。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンドなど希望とレベルにあわせたトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- A. 課題曲1曲の歴史的背景について理解する。
- B. 課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- C. 課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる。

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	課題曲1曲の歴史的背景について理解する		課題曲1曲のアーティストについて理解する		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングがワンコーラス分演奏できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	課題曲1曲を自身のレパートリーとすることができる		課題曲1曲を譜面を読みながら演奏できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

キーボード： キーボードバックングのアイデア”即戦力”138

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン 1			年度	2026
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等